

各 位

2026年4月9日
株式会社G S I クレオス
経営企画部 企画広報課

ナノテクノロジービジネス推進協議会が発行した ドイツ連邦労働安全衛生研究所（BAuA）による REACH 規則改訂案に 対するポジションペーパー（意見書）への賛同について

株式会社G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永 直明、以下 当社）は、社外機関と連携しながらカーボンナノチューブ（以下 CNT）の社会受容の推進に取り組んでおります。

このたび、ナノテクノロジービジネス推進協議会（以下、NBCI）は、ドイツ連邦労働安全衛生研究所（以下、BAuA）による提案に対するポジションペーパーを 2026 年 1 月に発行しました。ポジションペーパーにおいて NBCI は、「繊維状物質の規制措置やリスクの評価にあたって、世界保健機関の繊維状物質の定義*を用いて一律のグルーピングをする」という BAuA の提案に対して、多種多様な CNT を形状・サイズのみによって規制することは、科学的根拠を欠いていると指摘しています。さらに、CNT は広範な産業において不可欠な材料であり、今回の規制は、多くの利益を欧州市民や国際社会が十分に享受できなくなる可能性があるとして懸念を示しています。これらを踏まえて NBCI は、科学的な証拠に基づく議論を継続することを強く求めています。

当社は、本ポジションペーパーの内容に全面的に賛同し、内容の周知に向けて協力いたします。

【ナノテクノロジービジネス推進協議会発行ポジションペーパー】

- ・ [日本語版](#)
- ・ [英語版](#)

*世界保健機関（WHO）では、長さ 5 μ m 以上、直径 3 μ m 未満、アスペクト比が 3:1 となる繊維状物質を WHO ファイバーと定義

【G S I クレオスとは】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 27 の事業拠点を持ち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Email: ir-kouhou@gsi.co.jp